



-ニュースレター版-
2018年3・4・5月号/No.21

主の御名を賛美します。ニュースレターを溜め込まないつもりでしたが…気付けば前回の更新から5ヶ月も経過していました(涙) 6,7月号はもう少しお待ちください🙏さて、私は…というと、前回のニュースレターでも告知したように、4月にケニアに行ってきました！



◀ケニアまでは3度飛行機を乗り継ぎました。1度中国で預け荷物が見当たらない事件が発生！同行者で英語がペラペラの1兄が頑張ってくれて何とか無事再会できたのも今となってはいい思い出です笑



◀ケニアといえば野生動物のイメージ。10日間の滞在でしたが、時間を見つけてゾウさんにも会ってきました！さすがに上には乗れませんが、普段日本では触れ合うことのできないゾウさんの頭を撫でて帰ってきました^^

10日間なかなかハードなスケジュールでしたが、体調も守られ無事に帰ってくる事ができました。詳細は後ほど報告したいと思います。

また、GWには東京に遊びに来た祖父母にも会ってきました。



◀横浜にある山下公園に行ってきました！カメラを向けるとまんざらでもなさそうな顔で写ってくれる祖父母が大好きです😍(笑) 天候にも恵まれ、綺麗に咲いたバラと一緒に眺めてきました^^



◀小学2年生になった従姉妹の六花も元気でした！そんな六花の特技は金魚すくい。なんと先日はお祭りの金魚すくいで14匹すくったとか…。(1個のポイで、です😅)

名古屋での働きも4年目に入りました。最近更新がやや遅めなニュースレターですが、これからも振り返る作業を大切に…記憶を記憶だけに留めず、しっかり記録として残し、みなさんと恵みを分かち合っていきたいと思います^^

-3月の主なはたらき-

- 3/4 虹色だんごパーティー ☆
 - 3/17 ワーシップJAPANセミナー出席 (@東京) ☆
 - 3/18 ユース礼拝 (メッセージ)
 - 3/27-3/30 中高生キャンプ送迎 (@HBC)
- ☆印のみ報告します。

3月4日は、3月のイベント (Jキッズ・ユース合同礼拝) として、虹色だんごパーティーを行いました！今回のテーマはその名の通り「虹色」。



◀実はこの日をイベント日に選んだのは、ひな祭りの次の日だから…という理由もあります^^前日は女の子たちの手によって、カラフルなお団子を大量に作りました☆



◀「カーリングナイスイン」というチーム戦のゲーム。制限時間内にどちらのチームのボールが的の中に多かったか？点数を稼げたか？を競います。男子vs女子で熱い戦いを繰り広げました！



◀ヨハネ6:35のみことばからメッセージを聞きました。お団子は一本の串を基準にして繋がっているように…私たちは「イエス様の十字架」という串を基準にしてひとつになれることを学びました。



◀虹をイメージして作ったお団子の色は全7色。色とりどりのお団子たちは本当に綺麗で、大人も子どもも大喜び！当日はオープントースターで焼き目をつけた後、みたらしのタレをかけて食べました。お腹いっぱいでもなぜか手を出してしまう…。

今回、私はお団子を作る段階から女の子たちと一緒に準備を進めました。当たり前ですが、全部で7個あるお団子をひとつの串に刺すには、私たちが思い浮かべる普通サイズの竹串では全部刺さりません。

written by manyamo

7色の綺麗なお団子を完成させるには、多少コストがかかったとしても、ワンサイズ長くて太い竹串が必要です。お団子の準備を通して「基準になる串の大切さ」を教えられました。当日は大人15人、子ども23人の参加でした！

また、3月17日には東京までワーシップJAPAN主催のカンファレンスに参加してきました！



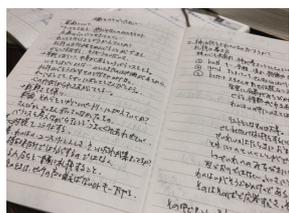
◀ワーシップJAPAN（旧名称：ゴスペル神学院）は、2002年より教会音楽・賛美に特化した学びを提供し、全国から生徒が集まってきている神学校です。TCU時代からこの学校の存在は知っていましたが、実際に足を運ぶのは初めてでした。年に1度、毎年この時期にカンファレンスが開催されています。

この教会に来て3年経ちましたが、教会にとっても、私にとっても大きなチャレンジだったことのひとつとして、礼拝で歌う「賛美」があります。

私たちの教会は、クリスチャンホームの子どもたちが多く…そんな背景から、おともだちが親しみやすいMEBIG（愛隣チャペル）やJESUS FAMILY（みどり野キリスト教会）の曲を中心に歌ってきました。

しかし、ひよんなことからユース世代を送り出すキャンプを変えてみたことで、ユースの子たちがそこで歌った曲を持ち帰ってきてくれたり、私が以前通っていた教会やキャンプで歌っていた曲を取り入れてみたりして、歌う賛美のバリエーションもこの3年でかなり増えました。

そんな中で私が賛美をリードする機会も増え、奉仕を捧げる中で「会衆を導いていくために何を大事にするべきなのか？」という疑問もポツリポツリと出初めてきた丁度いいタイミングで、今回のカンファレンスの存在を知りました。



朝から夕方までミッチリのセミナーでしたが…ひとつひとつの学びがとても新鮮でした。特に私がガツンと語られたのは、「ワーシップリーダーは次にどこを歌

うのか？指示をするだけの役割ではなく、会衆をしっかり見て、その上で聖霊の導きに従えることが必要だ」ということでした。

私たちの教会では、Jキッズ（幼稚科・小学科）とユースの礼拝で毎週必ずリハーサルを行います。事前リハーサルをすると、その日の礼拝ではどんな賛美を歌い、どんなゲームをするのか、どんな奉仕が必要なのかがわかります。しかし、それと同時に「リハーサル通りにやらなければ」という思いが礼拝の中で無意識にはたらいてしまい…「本当はもう少しサビを歌いたいけどリハーサルではこれで終わっていたし、時間が…」と、賛美をリードしながら自分の中で湧き上がってくる葛藤と戦う場面が私にも何度かありました。

「最高のものを捧げる」。そのための準備はこれから大事にしていきたいですが、毎週礼拝の中で確かなにはたらいてくださっている聖霊の導きに明け渡していく…という勇気もまた、必要な決断だと教えられました。そして、会衆の様子をしっかりと見極めることもワーシップリーダーの大事な務めだということも知り…そのために楽譜を覚える必要があることも学びました。

奏楽の練習や次にどこを歌うか？賛美の流れだけではなく…自分の内側の部分についても準備が必要だな、と思わされたセミナーでした。

-4月の主なはたらき-

- 4/1 イースター宝探し ☆
いちご狩り（ユース・青年おでかけ） ☆
- 4/15 ユース礼拝（メッセージ）
- 4/18-28 Mennonite World Conference 出席 ☆

今年、ちょうど4月1日がイースターでした^^



◀今回はイースター礼拝だったので、テーマは「復活」。復活の喜びの賛美を歌った後、ヨハネ11:25のみことばから、イエスが死から復活されたことの意味を学びました。

メッセージの後は、イースター恒例の「エッグハンティング」にちなんで…今年は「宝探し」を企画！



◀教会中に赤字100枚、青字100枚の「オカメインコ付せん」を貼って、それを集めてもらいました；最後にくじ引きをして…当たった番号の人たち同士（赤字の番号vs青字の番号）で対戦！その対戦に勝って、やっと宝箱をGET！という宝探し。付せんをたくさん集めれば確かに有利だけど…！？

written by manyamo



◀数々の試練を乗り越え、見事宝箱をGETしたのはYくん！本人はもちろん周りの子どもたちも大喜び^^気になる宝箱の中身は、みんな大好きブラックサンダーの詰め合わせでした！



◀ちなみに…この手がこんだ宝箱もスタッフのK兄の手作りです。(笑)元々は薬箱だったこの箱を、見事にDIY！！クモの巣の感じがなんとも宝箱っぽい…子どもたちも大絶賛でした^^

また、この後はユースメンバーで念願のいちご狩りにも行ってきました！



◀今回お邪魔したのは、蒲郡市にある「蒲郡オレンジパーク」。いちご狩りだけでなく、季節によってぶどう狩り・メロン狩り・オレンジ狩りが体験できます。



◀施設によって様々ですが、ここは練乳がつけ放題！！目の前にたくさん広がる苺たちを、あま〜い練乳をたっぷりつけていただきました♪いちごと練乳は最高の組み合わせです♡



◀1時間たらふく苺をいただいた後は、マクドナルドでお口直し…。甘いものを食べたあとは、なぜかしょっぱいものが食べたくなります。。そしてまた甘いものが…。(笑)

最近ではユースのメンバーが、月に一度のイベントをあらゆる場面でサポートしてくれています。曲決めから賛美リード、奏楽、ダンス、司会、ゲームの進行、パーティーの準備…など。奉仕者が増える分、リハーサルには倍の時間がかかりますが…少しずつ一人一人の個性や賜物も見えてきました。

我慢せずに言いたいことを言うことができ、ぶつかるときはぶつかることができ、しかしどんな一面



を知ったとしても、補い合い、助け合い、祈り合うことのできる…私は、そんなチームを目指していきたいと思っています。

そして…4月18日～28日までの11日間、ケニアで開催されたMennonite World Conference (MWC) にBIC日本代表として参加してきました！



◀10日間、一体私はどんな暮らしをするのだろうか…と色々な想像を膨らませていましたが、会場となったホテルは、のどかで綺麗な場所でした。ご飯もすごくおいしくて…日本にいる時以上に食べてしまったぐらいです。(笑)



◀今回初めてケニアにもBICの教会があることを知りました。この方はケニアBICの代表を務めておられる、アントニー兄。大柄なので見た目はすごく怖かったですが…とっても優しい方でした^^



◀日曜日はリムルにあるメノナイトの教会で礼拝を捧げました。ケニアの公用語は英語とスワヒリ語。同時通訳に対応した礼拝でした。また、メッセージに辿りつくまでたくさんの賛美を歌ったのも印象に残っています^^



◀礼拝を捧げに行った、ケニアメノナイト教会の子どもたち。礼拝の中で特別賛美も歌ってくれました。この写真に写っているのは3人ですが…実際は20人近い子どもたちが周りにいます…。この教会の10年後が楽しみです。



◀会議は月曜日から木曜日までの実質4日間。途中で雨も降りましたが、基本的にはこのカラフルなサーカステントの中で会議が行われました。上を向いてるだけで楽しくなってきました。(笑)



◀会議中はなんと一日に5回も食事が出ました…。(笑)しかも全部おいしいのでどうしても手が出してしまいます、これは私の一番のお気に入りメニュー・揚げピロシキ。(手前は日本から持ち込んだmiso soupです)



◀この会議を通して、Young Anabaptist (anabaptistの信仰を持つ若い世代のグループ)のメンバーとも知り合いました。特に右に写ってるラリサは、英語が話せない私を色々な場面で助けてくれました。

私がMWCに参加することが決まってから「BICの日本代表としてケニアに行く」という認識はありましたが、正直なところ「自分は何をしに行くのか？」現地に着くまで全くイメージが掴めませんでした…。が、行けば何とかなるもので（笑）、10日間風邪をひくこともなく、たくさん周りの人に助けをいただきながら楽しく過ごすことができました^^

今回の会議には「多様性と一致」というテーマがありました。ピリピ2:3に「互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい」というみことばがあるように…お互いを大切にするためにはどうすればいいのか？どうすればこのみことばを実現できるか？ということをも10日間かけて学びました。



特に私が心に刺さったメッセージは「どちらが正しいのか？と競い合うのは病気のようなものであり、謙遜であることが信仰生活のすべてだ」というものでした。

職場や学校、家庭、また教会生活の中で…意見が衝突し、どれだけ話し合っても分かり合えない…。そんな時、つい感情的になってしまい「あの人は間違っていて自分が正しい」そういった価値判断しかできなくなってしまうことがあります。大抵の場合は、残念ながらそのまま関係が決裂してしまったり、関係に溝が生まれてしまうことがほとんどです。

しかし聖書が教えているのは「割り切り」ではなく「自己肯定」でもなく「互いに人を自分よりもすぐれた者と思う」ことです。まず「自分が正しい」という考えを悔い改めることが一致のために必要なプロセスであり、その上でたどり着く答えがあるということ…それが「一致」なのだと教えられました。

何年か前に「倍返しだ！」という言葉も流行りましたが…。(笑)「やられたらやり返せ」というのがなんとなく今の世の中の常識のような気がします。しかし、イエス様は「倍返し」という選択を選びませんでした。それどころか人の罪を一身に背負い、愛ゆえに忍耐し、自ら十字架にかかることを選びました。「やり返した時の一時的なスカッと感」よりも、イエス様の姿に、みことばに従うことの喜びを選ぶ者になりたいと強く思わされた10日間のカンファレンスでした。送り出してくださり、ありがとうございました！

-5月の主なはたらき-

5/13-2/12 母の日パフェパーティー☆
5/19-5/20 女子リトリート（夜メッセージ）☆
5/20 ユース礼拝メッセージ

5月のイベントは母の日パフェパーティーを行いました！母の日とあっていつもよりたくさんママたちが来てくれました^^



◀久しぶりにマク○ナルドのお兄さん（ホンモノです）が登場！！おなじみのシェイク、ポテト、ハンバーガーのポーズでお兄さんと被ったら負けです。ポーズじゃんけんは毎回小学生に大人気☆



◀この日はパフェパーティー。パフェの上に乗っているトッピングに困って、テーマは「役割・積む」にしました。人にはどんな欠けがあったとしても必ず役割があることを詩篇118:2から学びました。



◀お待ちかねのパフェパーティーの様子。あいにくの天気でしたが、母の日とあってたくさんの親子が来てくれました。みんな自分なりの彩を考えながら一生懸命トッピングを考えてパフェ作りに励んでいました。

この日はJキッズ24人、ユース8人、大人17人の参加でした！

そして、5/19-20には1泊2日で女子リトリートが教会で行われました！2月には男子だらけの大規模なリトリートを行いました。今回は右を見ても左を見ても女の子だけ（当たり前ですが笑）のリトリート。



◀昨年同様アクティビティーの時間から始まった女子リトリート。hillsongの賛美に合わせて踊るダンス隊と、マスコット作り隊、好きな方に分かれて活動しました。こちらはマスコット作りの様子。



◀お昼はホットプレートで餅ピザを焼いておいしくいただきました。トマトソースとチーズを乗せた洋風ピザ、醤油ベースのツナマヨをトッピングした和風ピザ…どれもおいしかったです^^



◀午後はプールに遊びに行ったので写真がありませんが…夜ご飯は今年もカレーパーティー☆カレーは男子陣に作ってもらい、しっかりナンも注文。



◀夜は事前にリクエストを募った中から賛美タイム！レギュラーの子も初めて来た子も楽しく賛美を歌いました。ゲームタイムでは「二人おにごっこ」で大盛り上がり。

私は昨年同様、夜の集会でメッセージを担当させていただきました。今回のリトリートのテーマは「流れる」。イエス様が十字架で「流された」血、渴いた心を満たしてくれるイエス様の愛、そのイエス様からうけた愛を「流していく（伝えていく）」こと…そんなことを集まったおともだちに伝えたいと思い、テーマ聖句はヨハネ4:14「しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことがありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」を掲げました。



私はケニア滞在中、水にとっても敏感になりました。「水道水は絶対飲んだらダメ」「生のサラダは食べちゃダメ」と、私の体調を心配して多くの方々に言

われていたからです。なぜダメなのか？それは、現地の水を口にするとお腹を壊し、下手すると命の危険にも晒されるからです。普段気にも留めていませんでしたが、日本で蛇口からそのまま水が飲める環境が当たり前ではないことを痛感しました。皆さんの忠告とお祈りのお陰で無事に帰ってくる事ができましたが、この経験を通して水はそのまま人の命に繋がるものなんだ…ということを教えられました。

私たちの身体は70%が水できている…とされています。身体に水分がなくなると誰でも喉が渇くように…水は、人が生きていくための必須アイテムです。



イエス様は「わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことがありません。」とおっしゃいました。つまり、身体が機能していくために水が必要のように、イエス様も生きていくために必要なんだ…ということです。

私たちの心には汚い心=罪があります。どんなに綺麗な水でも、ちょっと墨汁を入れるとたちまち真っ黒の水になっていくように…罪には悪を心いっぱい



に広げてしまう性質があることを、実験を通して話しました。真っ黒になってしまった水はどうすればもう一度綺麗になるのか…？それは一度その水を捨てて、洗い流すしか方法はありません。罪も同じです。自分の力ではどうすることもできないものを、十字架の血潮によって洗い流してくれたのがイエス様なんだよ…ということを伝えました。

メッセージを準備しながら「こんな私のためにイエス様は命を犠牲にして救ってくれたんだ…」と、改めて感動してしまいました。ひとりひとりの心にもことばが届くことを願いつつ、今回もまた誰よりも私自身が恵まれたメッセージ準備となりました。



◀次の日はユースがJキッズの礼拝に出張！イベント日ではありませんでしたが、合同礼拝をもちました。これはVS嵐の企画を真似た「コロコロバイキング」。スタッフが多いからこそできるゲームです！

-おわりに-

ちょっとずつ書き溜めてはいたものの、まさか5ヶ月分も溜めてしまっていたとは自分でもびっくりです。(笑) 挙げ句の果てにいつもニュースレターを読んでもくれている友人たちから「まだ？」と催促される始末…。マイペースな更新になるとは思いますがこれからもよろしくお祈りします🙏(6,7月号も執筆中です)

written by manyamo